

第112回定時株主総会

2024年6月14日
エーザイ株式会社
CEO 内藤 晴夫

TIME
100
MOST
INFLUENTIAL
COMPANIES
— 2024 —

From TIME. © 2024 TIME USA LLC. All rights reserved. Used under license.

Eisai

Prioritizing patients



Eisai could be among the few companies with a drug to treat the root causes of Alzheimer’s disease, which affects a growing population of 55 million. Its drug, lecanemab (Leqembi), is the latest breakthrough in the company’s decades-long work on the neurodegenerative disease. That dedication stems from a philosophy of prioritizing patients’ needs.

エーザイはアルツハイマー病の根本原因に関わる画期的新薬であるレケンビの開発に成功した。本イノベーションはエーザイの企業理念である患者様と常に交流し、そのベネフィット向上を目的とすることにより生まれた。

企業理念(*hhc*理念)

定款 第2条 (企業理念)

本会社は、患者様と生活者の皆様の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献することを企業理念と定め、この企業理念のもとヒューマン・ヘルスケア(*hhc*)企業をめざす。

本会社は、日本発のイノベーション企業として人々の健康憂慮の解消と医療較差の是正という社会善を効率的に実現する。

本会社の使命は、患者様と生活者の皆様の満足の増大であり、他産業との連携による*hhc*エコシステムを通じて、日常と医療の領域で生活する人々の「生ききるを支える」ことである。

レケンビ

世界初、日本発のアルツハイマー病の根本原因に関わる薬剤
米国・日本・中国・韓国で承認取得

さらに14の国と地域で承認申請中

当社は、当事者様が最短で診断・治療が可能となる最新のパスウェイ構築に取り組んでいる
その活動は、まさしくパイオニアとしての作業であり、岩を除き、川を渡り、山を貫くものである

認知機能検査
(問診・評価スケール*)



アミロイドβ検査
(PET, 脳脊髄液検査)



投薬
(院内点滴)



副作用モニタリング
(MRI)

岩を除き

川を渡り

山を貫く

アルツハイマー病 パスウェイの革新

認知機能検査

評価スケール*1を用いた
認知機能検査



デジタル 認知機能検査

短時間(10分以内)で
軽度認知障害(MCI)の
スクリーニングが可能

AIを活用し、問診時の会話、
目の動き、脳波などを分析

アミロイドβ検査

PET検査や脳脊髄液検査による
アミロイドβ蓄積の判別



血液検査による アミロイドβ蓄積の判別

かかりつけ医における
確定診断実現の可能性

より簡便で侵襲性が低い
血液検査の実用化に向けて
米国C2N社*2に出資

薬剤投与方法

院内点滴による投与



レケンビ 皮下注射 オートインジェクター による在宅・在所投与

患者様・ご家族の通院負担を軽減

投与に要する医療従事者、
医療機関の負担を軽減



診断・治療の大幅な簡素化・普遍化をもたらす

*1 MMSE(Mini-Mental State Examination 認知機能スクリーニングスケール)、CDR(Clinical Dementia Rating 認知症 重症度評価スケール)など

*2 米国C2N社: ADの血液検査診断薬 PrecivityAD2を開発、エーザイは2024年3月に同社へ最大15百万ドルの出資を決定



治療開始早期化は、治療効果の拡大をもたらす

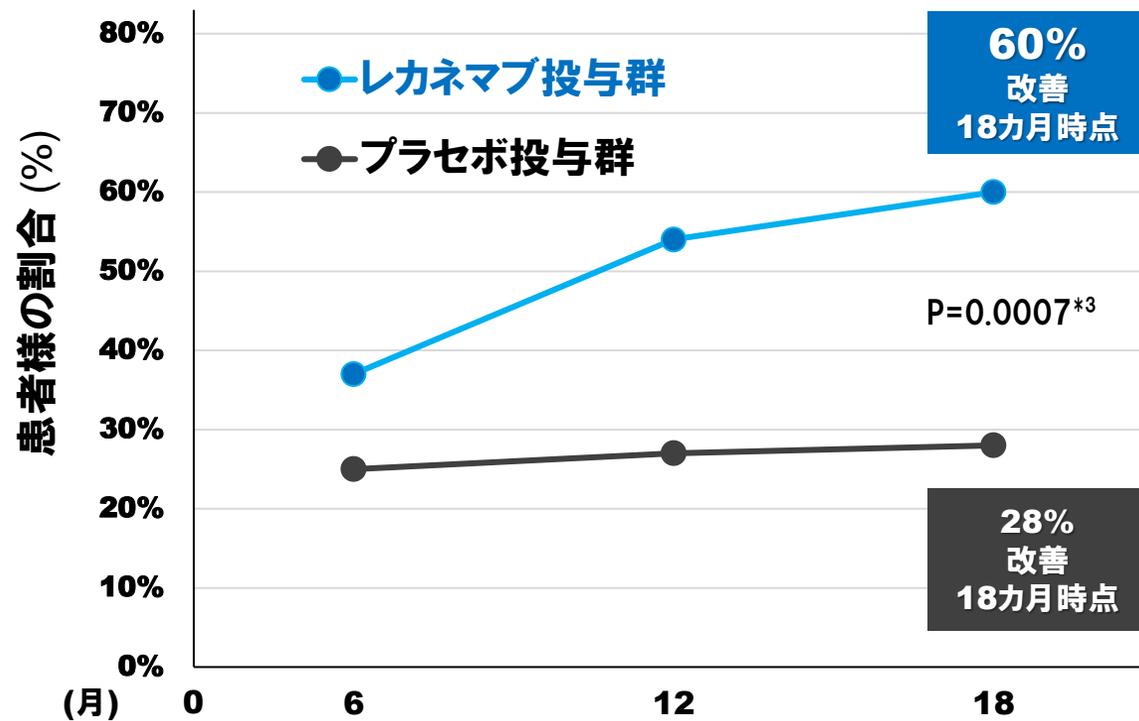
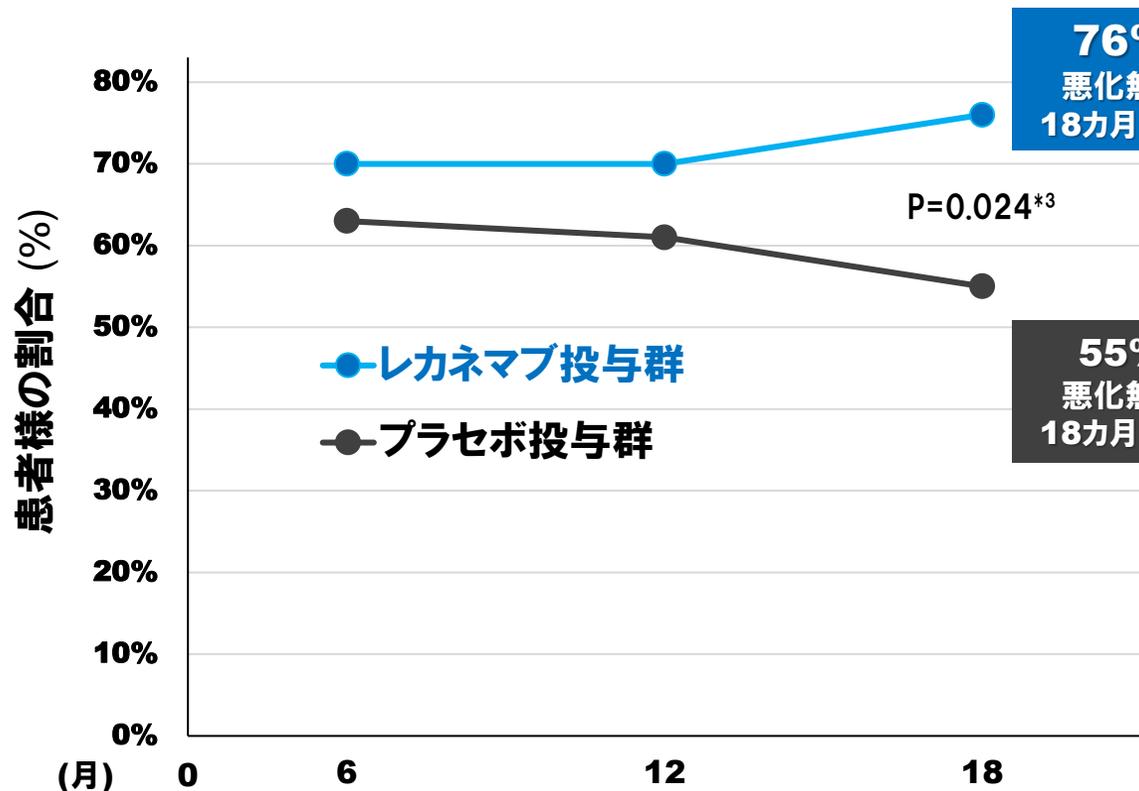
* AD:アルツハイマー病

MCIの早い時期における効果*1

レカネマブ*2投与群の**76%**は
臨床症状*が悪化しなかった

レカネマブ投与群の**60%**は
臨床症状が改善した

*臨床症状:記憶、見当識、判断力、地域適応、家庭・趣味、身の回りのできること の総合評価



早期治療開始により 認知機能の改善が示唆される

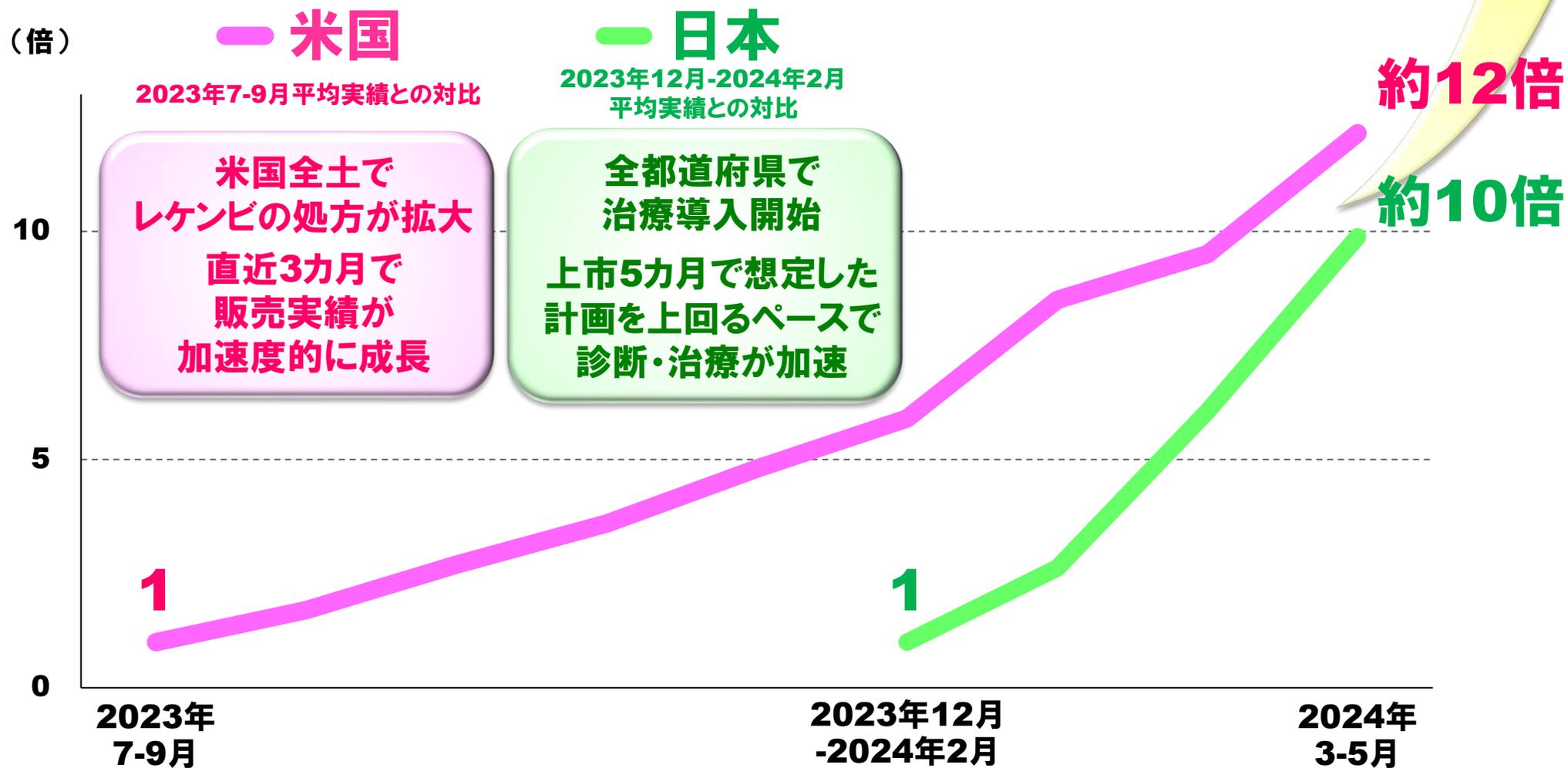
第16回 Clinical Trials on Alzheimer's Disease (CTAD, 2023年10月24-27日、米国ボストン)におけるLate Breaking Symposium 4
「Lecanemab for Early Alzheimer's Disease: Long-Term Outcomes, Predictive Biomarkers and Novel Subcutaneous Administration」で発表

*1 早期アルツハイマー病の初期段階と考えられる脳内タウ蓄積量の少ない被験者を対象としたデータ *2 レケンビの一般名

*3 P値: 臨床試験などで2つの群に差があるか比較する時に求められる数値で、一般的にP値が0.05未満の小さい値であった場合に、比較している2つの群に差があるとされる

日・米における レケンビ売上推移*

3か月平均実績比率



**2024年度見通し グローバル 565億円（米国 435億円、日本 100億円）
達成に向けて順調な進捗**

* 医療機関への販売実績

レンビマ 中長期的な患者様貢献を果たし 年間3,000億円レベルの売上収益の継続をめざす



肝細胞がん、上部消化器がん、
腎細胞がんなどへの適応拡大*2



**高純度レンビマ特許についてSUN Pharma*6と和解契約締結
中長期的な患者様貢献継続に向けて重要な前進**

*1 2024年3月末現在 *2 米メルク社と共同開発 *3 ペムプロリズマブおよび肝動脈化学塞栓術との併用療法 *4 胃がんおよび食道がん *5 ペムプロリズマブおよびHIF-2α阻害剤等との併用療法 *6 SUN Pharmaceutical Industries Ltd.及びSUN Pharmaceutical Industries Inc.

顧みられない熱帯病(NTDs)・マラリアへの取り組み 世界でいまだ10億人以上が感染リスクにさらされている

リンパ系フィラリア症(LF)の 集団投薬にDEC錠*1を提供

- 2013年10月以来、WHO*2を通して、30カ国に23億錠以上をプライスゼロで提供
- インド 自社工場で高品質なDEC錠を開発・製造し、全ての蔓延国で制圧を達成するまで、供給を継続することを約束
- 今日までにLF蔓延国19カ国で制圧を完了



患者様との共同化



当社DEC錠でLFを制圧した
インド ヤラダ村にて現地の方との交流

マイセトーマやマラリアに対して大学や NPOと共同で新薬開発

マイセトーマ

自社創製のホスラブコナゾールをスーダン申請準備中 (DNDi*3)



マイセトーマの皮膚病変



アフリカでのマイセトーマ
疾患啓発の様子



インドのマイセトーマ
患者様との共同化

マラリア

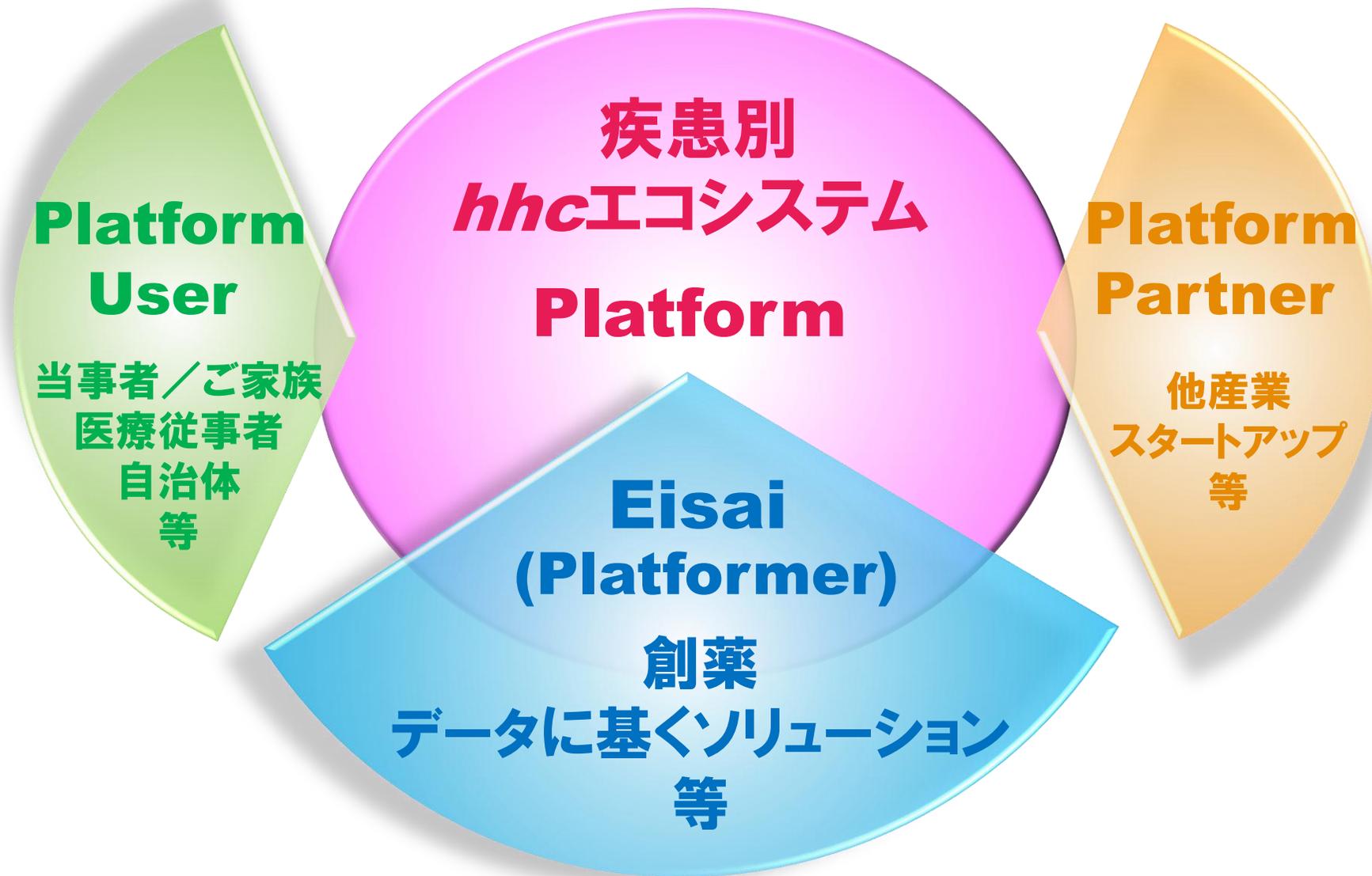
第Ⅱ相試験実施中

- SJ733 (ケンタッキー大学との共同開発)



マラリアを媒介するハマダラカ*4

疾患別 *hhc* エコシステムモデル (概念図)



企業価値の増大と成長へのシミュレーション（2032年度）

神経、がん、熱帯病でのhhcエコシステムの中核を担う

レケンビの成長とレンビマの底支え
（売上計 2兆円レベル）

自己資本*配当率(DOE) 15%レベル
自己資本*利益率(ROE) 25%レベルの実現

中長期の株主還元の方

財務の健全性に依拠した株主還元政策

自己資本とそれに基づくDOE、ROEにフォーカス

DOEを指標とした
配当の実施
(Income Gain)

業績拡大と自己株式取得による
ROE向上を反映した株価形成
(Capital Gain)

将来見通しに関する注意事項

- 本資料中の目標数値はあくまで中期的戦略、めざす方向性、ビジョン等を示すものであり正式な業績予想ではありません。正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく年次決算短信での開示をご参照ください。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基くものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準(IFRS)にて開示しています。